



令和7年4月14日
宮城県石巻農業改良普及センター
TEL:0225-95-7612 FAX:0225-95-2999
https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin-n/

令和7年産 麦作情報 (Vol.4)

今後の栽培管理のポイント: 適期追肥・防除

1. 1月~4月上旬の気象経過(図1)

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

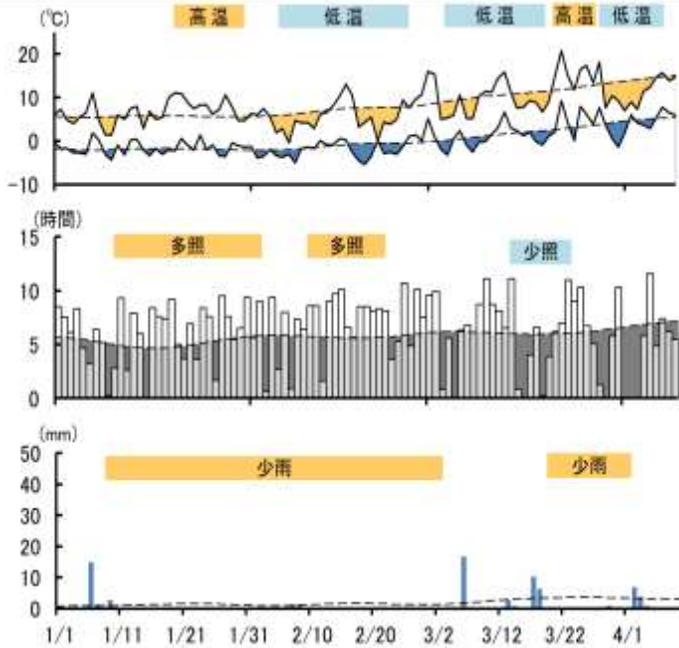


図1 気象経過(アメダス石巻)

※上:最高・最低気温、中:日照時間、下:降水量
※点線は平年値

4/12~

【気温】 10 30 60

【降水量】 20 40 40

【日照時間】 50 30 20

■低い(少ない) ■平年並 ■高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>

4/12~

1週目 10 20 70

2週目 10 30 60

3~4週目 20 40 40

■低い ■平年並 ■高い

<一か月予報4/12~5/11 ※4/10時点>

期間のはじめは、気温がかなり高くなる見込みです。

2. 生育調査ほの生育状況と生育ステージ(4月10日現在、表1、表2)

- ◆ 草丈は、平年より短い傾向です。
- ◆ 茎数は、シュンライ・ホワイトファイバーで平年より少なく、ミノリムギは平年並み~多い、シラネコムギは平年並みでした。
- ◆ 幼穂長は、シュンライ・ホワイトファイバーで平年より短く、ミノリムギは平年より長く、シラネコムギは平年並みでした。
- ◆ 減数分裂期は大麦で4/12~17頃、小麦で4/28頃と予想され、大麦では追肥時期となっています。出穂期は大麦で4/19~26、小麦で5/7頃が見込まれます。赤かび病の防除時期となる開花期は大麦で4/27~5/2、小麦は5/17頃となっています。

表1 生育調査結果(4月10日)

| 品種 | 調査ほ(旧市町) | 播種日(月/日) | | | 草丈(cm) | | | 茎数(本/m ²) | | | 幼穂長(mm) | | |
|-----------|----------|----------|-----|-----|--------|------|------|-----------------------|------|------|---------|-------|-------|
| | | 本年 | 前年差 | 平年差 | 本年 | 前年比 | 平年比 | 本年 | 前年比 | 平年比 | 本年 | 前年差 | 平年差 |
| シュンライ | 給人町(桃生) | 10/24 | +22 | +10 | 31.1 | 57% | 70% | 658 | 91% | 82% | 13.1 | -22.0 | -10.7 |
| ミノリムギ | 高須賀(桃生) | 10/20 | +6 | -1 | 36.4 | 102% | 101% | 890 | 126% | 125% | 13.9 | -0.3 | +3.2 |
| | 真野(石巻) | 10/24 | -4 | -7 | 26.8 | 72% | 84% | 633 | 89% | 102% | 20.3 | -2.0 | +6.4 |
| ホワイトファイバー | 水沼(石巻) | 10/16 | +2 | -5 | 38.2 | 83% | 91% | 521 | 82% | 83% | 19.1 | -22.2 | -11.0 |
| シラネコムギ | 太田(桃生) | 11/01 | +7 | +5 | 30.6 | 98% | 90% | 856 | 110% | 97% | 2.6 | -0.6 | +0.6 |

※ 平年差・比は過去5か年の平均値との比較。播種日の+は遅い、-は早いことを示す。

※ 幼穂長は9本の平均値

表2 生育ステージ予測

| 品種 | 調査ほ (旧市町) | 4/10調査におけ る主茎3本の平均 幼穂長 (mm) | 減数分裂期 | | | 出穂期 | 開花期 |
|-----------|--------------|-----------------------------------|--------------|------------|------------|-------|----------------|
| | | | 2回目の 追肥時期 | 前年差 (日) | 平年差 (日) | | 赤かび1回目 防除時期 |
| シュンライ | 給人町 (桃生) | 18.0 | 4月16日 | +6 | +3 | 4月23日 | 4月30日 |
| ミノリムギ | 高須賀 (桃生) | 15.3 | 4月17日 | ±0 | +2 | 4月26日 | 5月2日 |
| | 真野 (石巻) | 25.7 | 4月13日 | -1 | -5 | 4月22日 | 4月28日 |
| ホワイトファイバー | 水沼 (石巻) | 28.0 | 4月12日 | +3 | +1 | 4月19日 | 4月27日 |
| シラネコムギ | 太田 (桃生) | 3.3 | 4月28日 | +3 | +4 | 5月7日 | 5月17日 |

※ 普及に移す技術第91号をもとに、4月10日付け調査による平均幼穂長と石巻の予測気温(確率予測資料)を使用して算出した目安。
 ※ 今後、平年並みの気温で経過した場合の想定日です。暖かい日が多ければ早くなり、寒い日が多ければ遅くなります。
 ※ 「+」は前年や平年と比べて遅いことを、「-」は前年や平年と比べて早いことを示しています。

3 今後の管理

(1)「排水対策」～節間伸長期以降は湿害の影響を受けやすくなります～

◆ 節間伸長期から出穂期の湿害は、幼穂生長阻害による穂数の減少や穂の小型化、弱小分けつの枯死、子実の充実不足による収量・品質の低下、につながるため、排水対策を徹底しましょう。

(2)「追肥」～減数分裂期追肥の実施、小麦は穂揃期追肥の準備をしましょう～

① 減数分裂期追肥 … 1穂粒数の増加

◆ 追肥時期の幼穂長の目安は30mmです。この時期の幼穂は1日で5mm程度伸びる場合もあるため、幼穂長が30mmとなる頃までには追肥作業が終わるようにしましょう。

◆ 大麦は、追肥が遅れると硬質麦の発生が多くなるので、幼穂長や止葉耳間長を観察し、適期追肥に努めましょう。硬質麦はタンパク質含有率の高い子実で発生が多く、製品白度や歩留まり低下する要因となっています。

② 穂揃期追肥(小麦のみ) … たんぱく質含有率の向上

◆ 小麦は子実のたんぱく質含有率の高いものが求められます。たんぱく質含有率は登熟期の窒素供給量が多いほど高まるので穂揃期追肥を忘れず行いましょう。

◆ 穂揃期はほ場の全茎数の8～9割が出穂した日です。ほ場の状態を確認して適期施用を行いましょう。夏黄金は特に高い子実たんぱく質含有率を求められます。シラネコムギの2倍量の穂揃期追肥をしましょう。

表3 麦類の追肥量の目安

| 種別 | 品種 | 起生期(株直し) | | 幼穂形成期 | 減数分裂期 | 穂揃期 |
|----|-----------------|----------------|-----------------------|-----------|---------------------------------------|-----------|
| | | 起生期の葉の 黄化状態 | 越冬後、茎葉が再び 生長を始める時期 | 幼穂長が2～3mm | 幼穂長が3～5cm 止葉の葉耳間長±0mm 出穂10～15日前 | 出穂した茎が80% |
| 大麦 | シュンライ ミノリムギ | 少ない | 1 | 2～2.5 | 2～2.5 | — |
| | ホワイトファイバー | 目立つ | 2 | | | |
| 小麦 | シラネコムギ あおばの恋 | — | — | 2.5 | 2.5～5 | 2.5 |
| | 夏黄金 | — | — | — | — | 5 |

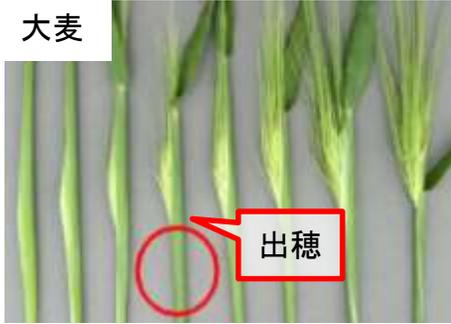
注)追肥量:窒素成分量(kg/10a)

(品種・生育量により調節)

出穂期、穂揃い期の判断

麦類の出穂とは、**芒を除く穂の本体**が顔を出した状態(写真の丸印の状態)です！

大麦



小麦



★ **出穂期**とは、ほ場の全茎数の**4～5割**が**出穂**(写真の丸印になった)した日です。

★ **穂揃期**とは、ほ場の全茎数の**8～9割**が**出穂**(写真の丸印になった)した日です。

(3)赤かび病:防除適期に防除を行いましょう！

重要

【赤かび病防除適期】

1回目：開花始期～開花期

2回目：1回目の**7～10日**後

(3回目)：2回目の**7～10日**後

【開花始期～開花期の大まかな目安】

【大麦】 出穂期後5～8日頃

【小麦】 出穂期後10～13日頃

- ◆ 赤かび病防除は、**防除時期(特に1回目)**が**重要**です。
- ◆ 基本は2回防除です。ただし、**降雨が続く場合**や「**夏黄金**」の場合は**3回**の防除が必要です。
- ◆ 薬剤耐性菌対策のため、**RACコード**が**同じ薬剤の連用を避け**、計画的に**ローテーション散布**を行いましょう。 ※RACコード: 農薬の有効成分を作用機序別にグループ分けし、アルファベット又は数字で表したものです。
- ◆ 「**シラネコムギ**」は**開花期が早まるほど発病リスクが高まる**ので適期を逃さないよう防除を行いましょう。
(防除薬剤につきましては、JAいしのみき発行の麦・大豆栽培技術マニュアルを参照願います)

— 農薬を適正に使用しましょう —

- 1 ラベルに記載されている適用作物、使用時期、使用方法等を十分に確認しましょう。
 - 2 ラベルの注意事項にある「注意喚起マーク」の表示に従い、適切な保護具を着用しましょう。
 - 3 農薬の使用前後には、防除器具を点検し、十分に洗浄されているか確認しましょう。
 - 4 近隣住民等に散布スケジュールを事前に周知し、周辺環境への飛散防止に努めましょう。
 - 5 農薬は計画的に購入・使用し、使い切るよう努めましょう。
 - 6 散布後には農薬の使用履歴を記帳しましょう。
- ※薬剤の選定に当たっては、最新の農薬登録情報を確認しましょう。
農林水産省の農薬登録情報提供システム：<https://pesticide.maff.go.jp/>

春の農作業安全確認運動実施中！
令和7年3月1日から令和7年6月30日まで

重点推進テーマ：徹底しよう！農業機械の転落・転倒対策